

実践予定表（概要） 平成 年 月 日版 作成者：

実践者	～ 先生	～ 先生	～ 先生
実践予定日(時期)	【1回目 月 日】 (活動場所) ～ 学級 【2回目 月 日】 (活動場所) ～ 学級 00:00～00:00(分)	【1回目 月 日】 (活動場所) 00:00～00:00(分)	【1回目 月 日】 (活動場所) 00:00～00:00(分)
形態	ロング / ショート ・新しく実践案をみんなで考える, または, ～先生のオリジナルの実践案を実施する。	ロング / ショート ・継続型(数時間扱い) ・現在の活動に準ずる実践を行う予定 ・ミニ外国語活動タイム(週1回)でテーマに一貫性	ロング / ショート ・ワンショット型(単発の活動) ～タイムを利用する (分程度の活動)
児童数及び支援員などのサポート体制	名 学級	名 学級	名 学級
参観・記録方法 (基本的に, 撮影する際は, 教室後方からとする。) (保護者や学校の許可をとる)	・(可能なら)研究授業という形で参観 ・ビデオ及びデジカメによる記録		
観察・見学者	1回目(月 日) ・授業見学者: 2回目(月 日) ・授業見学者:	1回目(月 日) ・授業見学者:	1回目(月 日) ・授業見学者:

使用機材 (基本的に, 実施する学校にある機材を使用)	<ul style="list-style-type: none"> ・40 型のテレビ ・ブルーレイ ・フラッシュ教材 		
内容の概略・ポイント等	<ul style="list-style-type: none"> ・児童一人ひとりの特性をどう生かすか ・ICT を使ってやっていない場合との比較を観察するなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽で体を動かす活動 ・全員で声を出す活動 ・楽しく行える活動 ・こだわりの強い子に対する支援 	
指導案概略	【1 回目】 題材：	【1 回目】 題材：	【1 回目】 題材：
担当教員の意向	ロングにおける英語活動の構成方法などモデルを提案する。		
その他			